

(2) 平成3年度学校道德教育振興事業

① 趣 旨

学校における道德教育をより効果的に推進するためには、学校と家庭や地域社会の密接な連携を図ることが必要である。このことから、学校教育関係者のみならず、県内の各界各層から道德教育に関して幅広く意見を聴取し、これを今後の学校における道德教育に反映させるとともに、道德教育の充実、振興に向けて県民全体で取り組む気運を醸成する。

② 平成3年度福島県道德教育振興会議

ア 主 催 福島県教育委員会

イ 会場・期日及び内容

第1回 原町市ひがし公民館 平成3年9月9日

「道德教育振興のために学校で行うこと」

第2回 大熊町立大野小学校 平成3年9月20日

大熊町公民館

「道德教育振興のために家庭でなすべきこと」

第3回 原町合同庁舎 平成3年11月18日

「道德教育振興のために地域社会が果たさなければならぬこと。」

第4回 原町合同庁舎 平成3年12月19日

「提言の内容、方法、形成の検討」

第5回 原町合同庁舎 平成4年1月27日

「提言文案の検討と振興会議の反省」

ウ 委 員 (20名)

平成3年度福島県道德教育振興会議委員名簿

(◎ 会長、○ 副会長) (平成3年9月1日委嘱)

氏 名	現 職
伊 藤 憲 一	福島民友原町支局長
遠 藤 恒 光	原町ロータリークラブ会長
遠 藤 ヨネ子	小高町商工会(婦人部長)
大 谷 浩 一	福島民報原町支局長
大和田 剛	南双葉青年会議所理事長
清 川 扶美子	双葉町公民館長
古小高 三 夫	原町精器株式会社
国 分 悟	双葉郡連合PTA会長
○今 野 末 治	双葉郡小中学校長会連絡協議会長
佐 藤 信 久	明星大学教務部次長
佐 藤 与 市	相馬ライオンズクラブ会長
佐 藤 老 松	相馬地方小学校長会長
◎瀧 本 政 弘	福島県市町村教育委員会双葉地方連絡協議会長
竹 岡 惇	福島県立双葉高等学校長
只 野 和 子	相馬市立中村第一中学校PTA副会長
藤 森 ヨシエ	大熊町青少年健全育成町民会議副会長
門 馬 真一郎	原町青年会議所理事長
安 川 キ エ	相双方部私立幼稚園協会会長
山 岡 ひ さ	相馬地方婦人会長
○渡 部 秀 夫	原町市教育委員会教育長

(あいうえお順)

エ 成 果

- 学校での道德教育の在り方、家庭でなすべき道德教育、地域社会が果たすべき道德教育について提言をまとめることができた。
- 新聞で振興の内容や開催に関する報道がなされ、道德教育振興に対する意識の醸成が図られた。

③ 市町村道德教育推進事業

ア 主 催 耶麻郡磐梯町、福島県教育委員会

イ 会場・期日及び内容

第1回 磐梯町役場小会議室 平成3年10月21日

「市町村道德教育推進事業実施計画について」

第2回 磐梯町立磐梯中学校 平成3年11月26日

「中学校の道德教育の理解について」

第3回 磐梯町立磐梯中学校 平成4年1月26日

「教育講演会」と「小学校の道德教育の理解について」

第4回 磐梯町役場小会議室

「市町村道德教育推進事業のまとめと反省」

ウ 委 員 (15名)

平成3年度福島県耶麻郡磐梯町道德教育推進会議委員名簿

(◎印 会長、○印 副会長) (平成3年10月委嘱)

氏 名	現 職
小 林 一 郎	磐梯町教育委員長
長谷川 博 久	磐梯町教育委員
新 澤 庄 寿	磐梯町教育委員
五十嵐 哲 夫	磐梯町教育委員
○鈴木 修	磐梯町社会教育委員
穴 澤 光 子	磐梯町社会教育委員
鈴 木 普	磐梯町区長会長
加 藤 昭 一	磐梯第一小学校長
千 葉 昇	磐梯第二小学校長
◎遠 藤 信 男	磐梯中学校長
滝 沢 玲 子	磐梯中学校教諭
高 橋 富 蔵	磐梯第一小学校PTA会長
小田辺 力 雄	磐梯第二小学校PTA会長
山 口 陽 康	磐梯中学校PTA会長
穴 澤 芳 男	磐梯町子供育成会連絡協議会長

エ 成 果

- 教育委員会・学校、家庭、地域社会が取り組むべき道德教育についての指針や具体策をまとめることができた。
- 新聞で振興の内容や開催に関する報道がなされたり教育講演会が実施されたりして、町民の道德教育推進の機運の醸成が図られた。